

7 危機管理・防災

武力攻撃やテロ等の国民保護事案、自然災害や大規模な事故等の災害などから市民の生命、身体及び財産を保護するため、危機の発生防止に努めるとともに、災害時等における防災体制の充実強化、訓練体制の確立など、危機管理体制の充実強化を図っています。

なお、危機管理と防災については、平成24年4月から危機管理室危機管理課の所管となりましたが、消防局では危機管理室と連携を図りながら防災業務を推進しています。

(1) 危機管理

市民の暮らしを脅かす危機事態が発生したとき、市は迅速な対応をとる必要があるため、関係部局が連携しながら、危機管理体制の充実強化に努めています。

(2) 防 災

本市では、「地域防災計画」に基づき、「防災体制の強化」のため、地域住民の自助・共助意識の醸成を行い、地域住民が主体となって、地域防災活動を行う「みんな de Bousaiまちづくり推進事業」、災害に備えた実効性のある防災訓練の実施など、さまざまな取組みを行っています。

令和7年度の主な取組みは以下のとおりです。

ア みんな de Bousaiまちづくり推進事業

災害から命を守りぬくために、自らの命を守る「自助」意識の醸成や地域で助け合う「共助」の風土づくりによる地域防災力の向上を目指して、小学校区単位を基本として取組む「地区Bousai会議運営支援事業」を実施した。また、市内の大学と連携し、地域防災の新たな担い手の育成に取組んだ。

イ 防災訓練の実施

市民の防災意識の向上や災害時における関係機関の連携強化を図るため、各地域の災害特性をふまえた住民参加型訓練等を実施した。

ウ 防災行政無線

沿岸部の住民等に対して、津波に関する情報を迅速かつ効果的に伝達する手段である防災スピーカーの適正な管理運用を行った。

エ 被災地復興支援事業

令和5年梅雨前線豪雨、令和6年能登半島地震の被災地への職員派遣など、被災地のニーズに即した支援活動を行った。

オ 総合防災情報システム

災害発生時の情報共有・情報発信を円滑に行うことができる総合防災情報システム及び防災ホームページ「防災情報北九州」の適正な管理運用を行った。

【第78表】北九州市総合防災訓練実施状況

(令和7年度)

	概 要
実 施 日 時	令和7年11月11日(火) 9:00~17:00
実 施 場 所	北九州市役所(小倉北区城内1番1号)
参 加 団 体 来 場 者 数	7の機関 約140人
実 施 概 要	・市内で発生した地震により交通機関が一時的に停止したと想定し、徒歩や自転車等で登庁する緊急参集訓練を実施した。 ・大規模災害時に設置される「災害対策本部」の運営訓練として、現状を把握し対応方針を決定する「災害対策本部会議」及び情報を集約し適切な対策を図る「災害対策センター」の訓練を実施した。
目 的	全庁的な災害対応能力の向上を図る。

【第79表】区防災訓練実施状況

(令和7年度)

区	月 日	時 間	実 施 場 所	参加人員	主 な 訓 練 内 容
門 司	令和7年11月29日(土)	8:30~11:00	柄杓田小学校	213人	[想定]地震、津波、高潮 避難誘導、情報伝達、救急救助、給食給水、広報、防災講演、 10/29(水)柄杓田市民サブセンターにおいて、柄杓田校区住民図上訓練(大学准教授による講義・検討等(避難人流シミュレーション、地域の特性を活かした避難のあり方))を実施。
小 倉 北	令和7年12月6日(土)	9:00~12:00	桜丘小学校	467人	[想定]地震、津波 職員参集、避難誘導、情報伝達、消火、応援物資搬送、避難所運営、シェイクアウト、HUG、広報
小 倉 南	令和7年11月29日(土)	9:30~12:00	曾根中学校	750人	[想定]地震、津波 避難誘導、情報伝達、広報、防災講演 津波災害の被害想定地域(葛原、沼、吉田、曾根東、曾根、田原、貫、朽網、東朽網)にも実施
若 松	令和7年11月8日(土)	9:00~12:00	高須東小学校	231人	[想定]地震 職員参集、避難誘導、情報伝達、救急救助、消火、給食給水、避難所運営、シェイクアウト、ドローン、広報、防災講演
八 幡 東	令和7年11月29日(土)	9:00~11:30	大蔵小学校	322人	[想定]大火災、地震 職員参集、避難誘導、消火、給食給水、避難所運営、シェイクアウト、広報
八 幡 西	令和7年10月25日(土)	9:00~12:00	引野小学校	232人	[想定]地震、津波 避難誘導、救急救助、消火、給食給水、避難所運営
戸 畑	令和7年11月29日(土)	9:00~13:00	一枝小学校	199人	[想定]土砂、地震 避難誘導、給食給水、ドローン、防災講演